

## インターナショナルマッチ 戦況連絡票

開催日	2018 年 6 月 30 日 土 曜日	試合コード	
開催地 (都道府県名)	東京都	会場名	大森スポーツセンター

結果	A		スコア		B
	日本	29	前半	31	ブラジル
			15 — 16		
			後半		
			14 — 15		
			第1延長前半		
			—		
			第1延長後半		
			—		
			第2延長前半		
			—		
			第2延長後半		
—					
7mTC					
—					
—					

戦況	見出し	<b>彗星JAPAN、奮闘むなしく2点差で惜敗</b>
	前半	<p>日本のスローオフで試合開始。ブラジルは非常に高いディフェンスシステム。高智のシュートで日本が先制。序盤より激しい攻防。めまぐるしいポジションチェンジでブラジルディフェンスの切り崩しを試みる。対するブラジルはフィジカルを生かした豪快なプレーで応酬。10分、6対6の同点。得点を重ねていた吉野の退場やパスミスが響き、前半18分 4点差まで広げられる。しかしここから日本も息を吹き返す。ブラジルのスカイプレーを成田がカット、そのボールを受け取った門山が速攻を決めるビックプレーで19分10対11と日本が詰め寄せたところで、ブラジルはたまたまタイムアウト。日本の体を張ったディフェンス、久保の7M阻止、酒井の速攻阻止などG Kも活躍し、一進一退の攻防が続く。トレドの強烈なステップシュートやドウトラの巧みなミドルシュートで日本を突き放そうとする。しかし、ラスト1分、成田の2連続速攻で1点差まで詰め寄り、ブラジルに1点返されるも、7人攻撃から杉岡のサイドシュートが決まったところで、タイムアップ。15対16ブラジルリードで前半終了。</p>
後半	<p>後半開始早々、東江のシュートで同点に追いついた日本は、流れをつかむ。GK坂井の連続ファインセーブ、吉野の連続シュート、元木の速攻で開始5分一挙に3点差まで広げる。その後も日本の勢いは止まらず、東江のカットイン、東江から小室へのバックパス、杉岡が7Mスローでループシュートを決めるなど、日本のナイスプレーが続く、12分25対20と5点差まで広げる。15分笠原の退場でブラジルが息を吹き返す。打点の高いサントスのロングシュートや連続速攻で19分1点差まで詰め寄る。その後、日本は渡部のカットインで得点するも、ブラジルはアッキバルスのサイドシュート、ナンチスの速攻がきまり、ラスト5分、とうとう同点に追いつかれる。ナンチスの打点の高いロングシュートで逆転を喫した日本は最後のタイムアウト。ここから7人攻撃を仕掛けるが成功せず。日本1点ビハインドのラスト30秒でブラジルがタイムアウト。日本は最後まで諦めずボールを奪いに行くが、最後はアッキバルスが本日6点目のサイドシュートを確実に決め、終止符を打たれる。29対31で日本は敗戦を喫した。</p>	

戦況報告書作成者	草川 和真
----------	-------